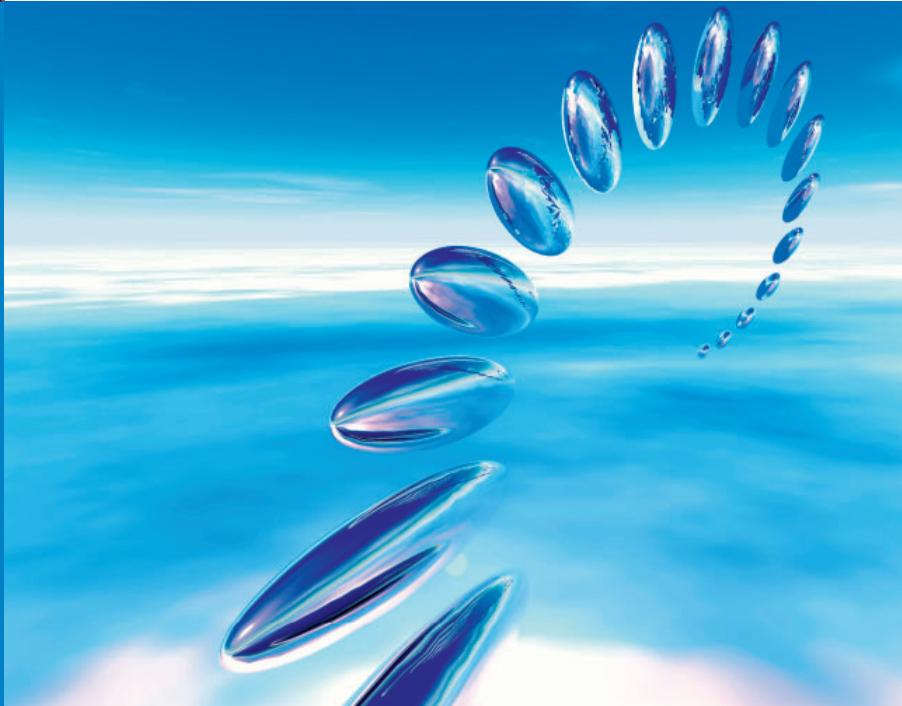


第66期 中間報告書

平成21年4月1日～平成21年9月30日

The Business Report



黒田精工株式会社

証券コード：7726

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第66期中間期（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月



代表取締役社長 黒田浩史

当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間の経済状況を顧みますと、昨年秋以降の世界経済の急激な落ち込みは、各国の景気刺激策の効果もあり、多少の持ち直しを見せたものの、日本の製造業はまだまだ生産能力過剰の状態にあり、企業の設備投資は冷え込んだままに終わりました。

こうした環境下、当社グループの主要顧客であるIT関連業界、自動車業界、金型業界、工作機械業界のいずれにおいても、設備投資活動は低調なレベルに推移いたしました。この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は2,838百万円（前年同期比4,092百万円、59.0%減）、売上高は2,712百万円（前年同期比4,489百万円、62.3%減）となりました。また、損益面につきましても労務費の削減をはじめとする様々なコスト削減努力を実施しましたが、売上減少の影響をカバーするには至らず、経常損失1,224百万円（前年同期は経常利益248百万円）の結果となりました。さらに希望退職者に対する特別退職金支払い、繰延税金資産の一部取崩しを実施したため、四半期純損失1,712百万円（前年同期は四半期純利益138百万円）の結果となりました。

こうした状況を受け、当社においては全社構造改革プロジェクトを発足させ、抜本的な収益構造の改善に取り組んでおります。また、ハイブリッド自動車「インサイト」へのモーターコア搭載や駆動システムにおける医療分野等の新分野への参入、接着コアシステムの「ものづくり日本大賞優秀賞」および「超モノづくり部品大賞自動車部品賞」受賞、450mm半導体ウェハー測定システムの開発等、将来につながる明るいニュースもありました。これらの取り組みを今後更に加速させてまいります。

通期の見通し

企業の設備投資は依然として低調であり、当面は非常に厳しい環境が続くものと考えておりますが、各国の景気刺激策等もあり消費活動・生産活動は徐々に回復しており、第3四半期連結会計期間以降に向けて収支は改善するものと予想しております。

また、第2四半期連結累計期間中の固定費削除努力により、損益分岐点が下がった効果も第3四半期連結会計期間以降には見込んでおります。

しかし、第2四半期連結累計期間の大幅な赤字を受けて、残念ながら当社の通期の受注・売上予想は大幅な下方修正のやむなきに至りました。当社グループの通期の連結業績は、売上高6,910百万円、経常損失1,210百万円、当期純損失1,710百万円と予想しております。

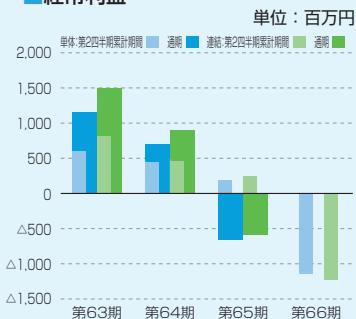
第3四半期連結会計期間以降においては、新規分野開拓を含む営業努力を加速するとともに、一層の収益改善と構造改革に努め、業績の早期回復を図る所存ですので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

決算ハイライト

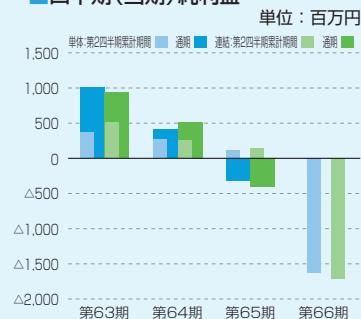
売上高



経常利益



四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益



総資産



純資産



■精密機器部門

■ボールねじ

受注は前年度第4四半期を底に回復基調にあり、当第2四半期は前年度第4四半期比で82.1%の増加となりました。しかし、昨年後半以降の急激な落ち込みを回復するには至りませんでした。この結果、当第2四半期連結累計期間のボールねじの受注高は909百万円（前年同期比1,381百万円、60.3%減）、売上高は817百万円（前年同期比1,412百万円、63.3%減）となりました。

売上高	817 百万円
前年同期比	63.3% 減

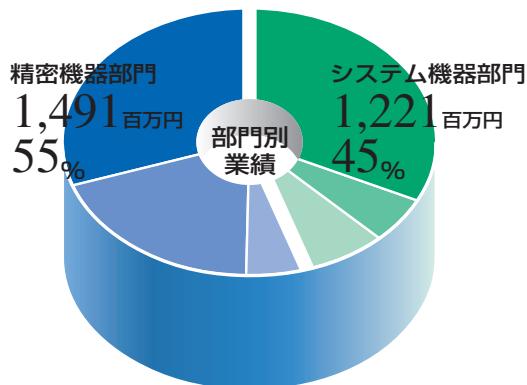


■空気圧機器

平成18年3月のクロダニューマティクス株式会社（KPL）の株式売却以降、減少してきた当社経由のKPL製品の取扱いは、今期からゼロになり、現状では、この部門はコンプレッサーを扱うクロダイインターナショナル株式会社の営業活動のみとなっております。この結果、当第2四半期連結累計期間の空気圧機器の受注高は149百万円（前年同期比90百万円、37.7%減）、売上高は149百万円（前年同期比86百万円、36.6%減）となりました。

売上高	149 百万円
前年同期比	36.6% 減

部門別売上構成比



■ツーリング・ゲージ

ツーリングの主要顧客である自動車関連業界は環境対応車（エコカー）需要で生産の回復は見られるものの、設備は余剰分の一部再利用に留まっている状況です。また、一般機械加工市場の需要も低迷し、低調な受注となりました。ゲージ関連も原油価格は回復基調にあるものの、油井管生産調整の影響もあり、APIねじゲージの需要に力強さはなく低調な受注となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間のツーリング・ゲージの受注高は512百万円（前年同期比860百万円、62.7%減）、売上高は524百万円（前年同期比977百万円、65.1%減）となりました。

売上高	524 百万円
前年同期比	65.1% 減

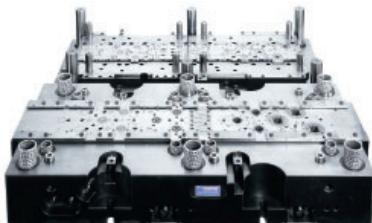


■ システム機器部門

■ プレス型

精密プレス型につきましては、受注は前年度第4四半期を底に回復基調にあり、金型の修理発注も抑えられていた前期と比べると、一部では更新型の引き合いが増え、顧客の現場での操業率が向上したことが窺えます。ハイブリッド車搭載モーターコア関連事業は年初計画に沿って推移しており、次期モデルのサンプル受注も増えております。携帯電話用振動モーターコア関係は前年同期比プラスで推移しており、主要顧客の在庫調整は完了したものとされます。この結果、当第2四半期連結累計期間のプレス型の受注高は1,003百万円（前年同期比496百万円、33.1%減）、売上高は880百万円（前年同期比756百万円、46.2%減）となりました。

売上高 **880** 百万円
前年同期比 **46.2%減**



■ 工作機械

平面研削盤の受注売上につきましては、世界経済の変調に伴う工作機械需要の大幅な落ち込みの流れに抗することができず、予算を大きく下回りました。とりわけ、主要顧客である金型業界の設備投資需要は低く、回復の兆しは依然見えておりません。受注は第1四半期を底に漸増傾向にあります。学校関連や「ものづくり支援」補助金等の特需的な受注が多く、依然民間需要、特に金型業界の本格的な需要増に至りませんでした。この結果、当第2四半期連結累計期間の工作機械の受注高は144百万円（前年同期比686百万円、82.6%減）、売上高は148百万円（前年同期比740百万円、83.3%減）となりました。

売上高 **148** 百万円
前年同期比 **83.3%減**



■ 精密測定装置他

超精密表面形状測定装置（当社商品名：ナノメトリク）関連では、主要顧客において徐々に回復傾向が出てきておりますが増産投資への動きまでには至らず、前期に続き受注は低調な結果に終わりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の精密測定装置他の受注高は118百万円（前年同期比577百万円、82.9%減）、売上高は192百万円（前年同期比516百万円、72.9%減）となりました。

売上高 **192** 百万円
前年同期比 **72.9%減**



四半期連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 平成21年9月30日現在	前 期 末 平成21年3月31日現在
資産の部		
流 動 資 産	7,530	7,759
固 定 資 産	10,761	11,337
有 形 固 定 資 産	8,655	8,914
無 形 固 定 資 産	131	136
投 資 そ の 他 の 資 産	1,975	2,286
資 産 合 計	18,292	19,097
負債の部		
流 動 負 債	4,650	5,073
固 定 負 債	7,711	6,476
負 債 合 計	12,362	11,549

科 目	当第2四半期末 平成21年9月30日現在	前 期 末 平成21年3月31日現在
純資産の部		
株 主 資 本	4,287	6,000
資 本 金	1,875	1,875
資 本 剰 余 金	1,451	1,451
利 益 剰 余 金	967	2,680
自 己 株 式	△6	△6
評 価 ・ 換 算 差 額 等	1,495	1,399
土 地 再 評 価 差 額 金	1,337	1,337
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	212	136
為 替 換 算 調 整 勘 定	△54	△73
少 数 株 主 持 分	147	147
純 資 産 合 計	5,929	7,547
負 債 ・ 純 資 産 合 計	18,292	19,097

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 平成21年4月1日～ 平成21年9月30日	前第2四半期累計期間 平成20年4月1日～ 平成20年9月30日
売 上 高	2,712	7,201
売 上 原 価	2,867	5,589
売 上 総 利 益	△155	1,611
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	982	1,389
営 業 利 益	△1,137	222
営 業 外 収 益	150	183
営 業 外 費 用	236	157
経 常 利 益	△1,224	248
特 別 利 益	－	1
特 別 損 失	189	6
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	△1,413	243
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	19	77
法 人 税 等 調 整 額	283	11
少 数 株 主 利 益	△2	16
四 半 期 純 利 益	△1,712	138

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 平成21年4月1日～ 平成21年9月30日	前第2四半期累計期間 平成20年4月1日～ 平成20年9月30日
営 業 活 動 による キャッシュ・フロー	△733	383
投 資 活 動 による キャッシュ・フロー	△95	△1,205
財 務 活 動 による キャッシュ・フロー	1,514	△613
現 金 及 び 現 金 同 等 物 に 係 る 換 算 差 額	23	△15
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 増 減 額	708	△1,450
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 期 首 残 高	3,312	3,958
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 四 半 期 末 残 高	4,021	2,507

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

会社の概況 (平成21年9月30日現在)

■ 会社の概要

商号 黒田精工株式会社
 本店 神奈川県川崎市幸区下平間239番地
 創業 1925年(大正14年)
 資本金 18億75百万円
 従業員数 464名

■ 連結対象会社の状況

連結子会社 クロダインターナショナル株式会社
 クロダプレジジョンインダストリーズ(M)(マレーシア)
 平湖黒田精工有限公司(中国)
 永昇電子株式会社
 持分法適用関連会社 株式会社ゲーシング
 日本金型産業株式会社
 クロダニューマティクス株式会社
 株式会社TGK

■ 当社グループの主要な事業

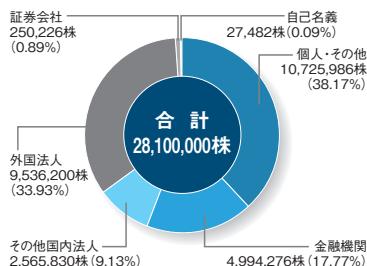
部門	製品グループ	主要製品
精密機器	ボールねじ	精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ
	ツーリング・ゲージ	MCツーリング、専用ツーリング、ハイドロリックツール、微量潤滑油供給装置(当社商品名:エコセーバ)、その他各種保持工具、油井管用ねじゲージ、ねじゲージ、ブロックゲージ、一般ゲージ類
	空気圧機器	コンプレッサ
システム機器	プレス型	積層精密プレス型(当社商品名:FASTEC型)、モータコア、順送り用精密プレス型、精密金属プレス製品
	工作機械	平面研削盤(NC機を含む)、スーパーポリシングマシン
	精密測定装置他	超精密表面形状測定装置(当社商品名:ナノメトロ300TT)、液晶フォトマスク用大型平坦度測定装置(当社商品名:ナノメトロFTT1500)、パルスエンコーダ、医療用機器、電子機器

株式データ (平成21年9月30日現在)

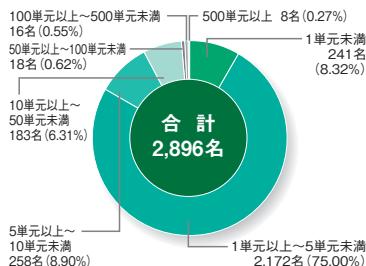
■ 株式の状況

発行可能株式総数 74,800,000株
 発行済株式の総数 28,100,000株
 株主数 2,896名

■ 所有者別株式分布状況



■ 所有株式数別株主分布状況



■ 大株主

株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
パーカー ハネフィン ユーケー株式会社みずほ銀行	9,400	33.48
黒田 浩史	1,381	4.92
中央三井信託銀行株式会社	1,169	4.16
黒田精工取引先持株会	770	2.74
株式会社横浜銀行	748	2.66
株式会社損害保険ジャパン	748	2.66
朝日生命保険相互会社	660	2.35
日本生命保険相互会社	500	1.78
株式会社ユウシュウ建物	443	1.57
	412	1.46

*持株比率は自己株式(27,482株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月下旬	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	毎年3月31日	(電話照会先)	電話 0120-78-2031(フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の 全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。
定時株主総会・期末配当			
公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載 します。 http://www.kuroda-precision.co.jp/ ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、 日本経済新聞に掲載します。		

株式に関するお手続きについて

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL. 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○特別口座から一般口座への振替ご請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高ご照会 ○配当金の受領方法のご指定(*)	特別口座の 口座管理機関	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL. 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	[手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 0120-87-2031 (フリーダイヤル) ○インターネットによるダウンロード http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

黒田精工株式会社

本社 / 〒212-8560 神奈川県川崎市幸区下平間239番地
TEL / 044-555-3800(代表) FAX / 044-555-3524
<http://www.kuroda-precision.co.jp/>



再生紙を使用し、大豆油を利用したソイ・インキを使用しています。